

【協力会社紹介】株式会社羽沢建設

「一人一人基本を大切にし、注意しあえる風土の確立」をモットーに、青森出張所社員26名で、津軽線、奥羽本線、青い森鉄道線の保守工事に従事しています。

○当社の課題

軌道経験5年未満が4名、5年～10年未満の社員が4名となっており、技術レベル・安全レベル向上に向けた取組みが当面の課題です。

現場での指導含め、安全会議等を活用し技術力向上に努めていくとともに、各種フォローアップ研修などへの積極的な参加、JR資格、各種資格等の取得、スキルアップを目指します。



羽沢圭央専務取締役

《トピックス》

○2023年度安全大会開催

9月11日、仙建本社、盛岡支店、青森出張所のご協力により無事に開催することができました。



①AM(会議室)

「備えあれば憂いなし」…これを徹底できなかった八甲田雪中行軍遭難事件の概要をパワーポイントで作成し、世界最大の山岳遭難事故が発生した経緯を説明しました。日頃行っている作業ミーティング、A点呼、KYTなどの事前準備がいかに大事であるかを共有できました。

②PM(実設訓練)

訓練線を活用し、班編成3組で線路立入り、退出時のケジメを実施しました。また、会社の課題である“若手社員の技術レベル向上”に向け、レール緊張器取扱い訓練を実施しました。訓練では、切断前・穴明け前の印付け、Wチェック、切断機の取扱い、ミニカブの取扱いを中心にベテラン社員から指導してもらい、若手社員の技術力向上を図ることができました。



レール緊張器取扱い訓練



レール切断機、ミニカブ取扱い訓練

○軌陸車使用時における安全パトロールの取組み

今年度は軌陸車使用時に関するルールが追加されたので、軌陸車を使用する作業(軌陸BH2台使用による弾性PCマクラギ交換、軌陸ダンプによるバラスト運搬など)を中心に安全パトロールを実施し、ブレーキの確認、一旦停止位置に回転灯の設置など接触防止対策が確実に実施されていることを確認しました。これら対策が形骸化しないよう、これからも安全会議で繰り返し教育していきます。



弾性PCマクラギ交換



一旦停止位置 緑色回転灯設置状況

《職場のホープ紹介》

○佐藤 大吾(さとう だいご) 37歳

《鉄道経験》1年11ヶ月

2022年3月1日入社

《特技》サッカー

《趣味》スノーボード

《夢》仕事を任せてもらえる存在になりたい

《抱負》

作業手順などいろいろ覚えることがいっぱいあります。積極的に行動、チャレンジして安全作業に取り組んでいきます。



○佐藤 将人(さとう まさと) 36歳

《鉄道経験》1年8ヶ月

2022年6月1日入社

《特技》ダーツ、バスケット

《趣味》釣り、ドライブ、パチンコ

《夢》マイホームを建てる

《抱負》

現場ではまだまだ分からず先輩方にはご迷惑をお掛けしています。安全作業を心がけ、技術力向上に励んでいきます。

